

大牟田のよさや魅力を生かしたまちづくり



公明党議員団
三宅 智加子 議員



物価高騰対策

問 公明党の政策立案アンケートに寄せられた10万件を超える声を基にした政策の1番目に物価高騰対策がある。市長の考えを聞きたい。

答 国は、電気代やガソリン代などの様々な経済対策を講じている。本市では、国や県の支援策を活用し、学校給食費の負担軽減、小中特別支援学校の新入学用品の一部支援、地域の消費喚起のためのプレミアム商品券の発行など、独自の対策にも取り組んでいる。

再発言 国の重点支援地方交付金は、市民が期待する政策を精査した上で、本市独自の活用を行っていただきたい。

シビックプライド ～都市・地域に対する 市民の誇り～

問 シビックプライドは、権利と義務を持って行動する主体として、自分自身が関わって地域をよくしていこうとする自負心を指すとも言われる。人口が減っても持続可能な地域であり続ける一つの手段がシビックプライドと言えるのではないか。シティプロモ-

ーション戦略では、市民へ大牟田の良さや魅力を認識してもらうこと（インナープロモーション）により郷土への愛着や誇りを醸成し、定住する人を増やすと記載されている。市長は、本市のよさや魅力をどう捉えているのか聞きたい。

答 魅力は様々あると思うが、端的に言うと暮らしやすさと大牟田の「人」にあると思う。

問 市長が講師を務める出前授業もインナープロモーションに当たると思う。市長の感想を聞きたい。

答 小学校5・6年生を対象に「私たちのまち 大牟田を知ろう」をテーマに、炭鉱とともに発展した本市の産業が今も世界に誇れるものであることや、おいしく安全な農産物・海産物、大蛇山まつりなど、大牟田の魅力を紹介し、便利で住みやすいことなども話している。未来を担う子どもたちが自分なりの夢を持って実現するために努力する一助になれば幸いである。



倉永小学校での出前授業の様子

問 旧橘中学校の生徒達が取り組んだOMUTAジュニアシティメーカーについて聞きたい。

答 卒業生が取組を大阪・関西万博で発表できることは、SDGs/ESDの取組を全世

界に発信できる素晴らしい機会。

令和3年度から3期、4年間、石炭産業の歴史と大牟田の魅力を取り入れたシュークリームやハンバーガーなどの商品開発と販売、白銀中学校の中庭デザインの提案などの活動を通じ、自分たちにもできるという手応えと社会参加の喜びを得られた。

災害に強いまちづくり

問 排水対策基本計画の事業の進捗状況と課題を聞きたい。

答 ハード対策の主なものとしては、流す対策として歴木の樋門増設工事、ためる対策として三田堤の工事、排水する対策として三川ポンプ場の建設工事を行っている。ソフト対策としては、防災士の養成講座やスキルアップ研修の開催、地域学校における防災訓練等による地域防災力の強化に引き続き取り組んでいる。事業を着実に進めるには、物価高騰に伴う事業費の増大への対応や有利な財源の確保、技術職員の確保が必要である。

公立夜間中学校 ～宅峰中学校ほしぞら分校～

問 市外や県外からの生徒受入れについて聞きたい。

答 令和8年度からの受入れに向けて、福岡県教育委員会南筑後教育事務所と本市教育委員会構成する大牟田市立夜間中学連絡協議会で協議を進めている。